

2015年11月5日
株式会社東陽テクニカ

**不正送金、アカウント乗っ取りを防ぐ新たな認証システム
「マルチファクター&2 経路認証ソリューション」販売開始
～Keypasco 社と国内総代理店契約を締結～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、認証ソリューションをグローバルに提供する Keypasco 社（本社：スウェーデン）と国内総代理店契約を締結し、独自の認証技術でインターネットバンキングにおける不正送金“ゼロ”を確立する「マルチファクター & 2 経路認証ソリューション」を 2016 年 1 月より販売いたします。

【背景／目的】

2015 年上半期だけでインターネットバンキングの不正送金は、発生件数で 754 件、送金額で約 15 億円※1の被害が発生し、影響を受けた金融機関は 144 行に及んでいます。インターネットバンキングで利用するワンタイムパスワードには、2013 年に新種のウイルスにより認証が破られるという新たな手口が出現しています。大手銀行などで使用されているハードウェアトークンは、インターネットバンキングのセキュリティ対策に最も安全な方法とされていますが、利用者は、ユーザ ID やパスワードの他、トークンで得られた数字などを入力しないとログインできず、また、契約している銀行の数だけトークンを持ち使い分けの必要があり、利便性が低いとされています。銀行側は、利用者は無償で提供するトークンに掛かる費用（初期費用、追加費用、保守費用）を負担しなくてはなりません。このハードウェアトークンにも、2014 年に MITB（Man In The Browser）攻撃※2 による被害が見つかっています。

東陽テクニカはこの度 Keypasco 社と国内総代理店契約を締結し、ワンタイムパスワードおよびハードウェアトークンに代わり、インターネットバンキング利用者の利便性・安全性、銀行側の運用コスト低減の課題を解決する「マルチファクター & 2 経路認証ソリューション」を販売いたします。

※1 警察庁広報資料より（2015 年 9 月 3 日付）

※2 Web ブラウザを通じてインターネットバンキングを利用する際に、ユーザの預金を盗み取る攻撃のこと



「マルチファクター & 2 経路認証ソリューション」製品イメージ

【マルチファクター&2 経路認証ソリューション】の主な特長

開発コンセプトは、非常にシンプルで、“自分のユーザ ID とパスワードは、自分のモバイル端末からのみ機能”することを前提に設計されています。下記のコア技術を使って、5つの認証要素①ユーザ固有認証情報（個人情報には含まない）、②ユーザ端末デバイス認証、③近距離通信端末、④地理的位置情報、⑤リスクマネジメント解析、を使って自分の端末からしか認証ができない環境を実現します。また、従来の認証方式では、利用者と銀行（銀行サーバ）間の認証経路（第一認証経路）のみですが、「マルチファクター&2 経路認証ソリューション」は、利用者と Keypasco サーバ間の認証経路（第二認証経路）を設け、第一認証経路でセキュリティの脅威があっても第二認証経路により安全性を担保します。

「マルチファクター&2 経路認証ソリューション」は、2つのコンポーネントで構成されています。

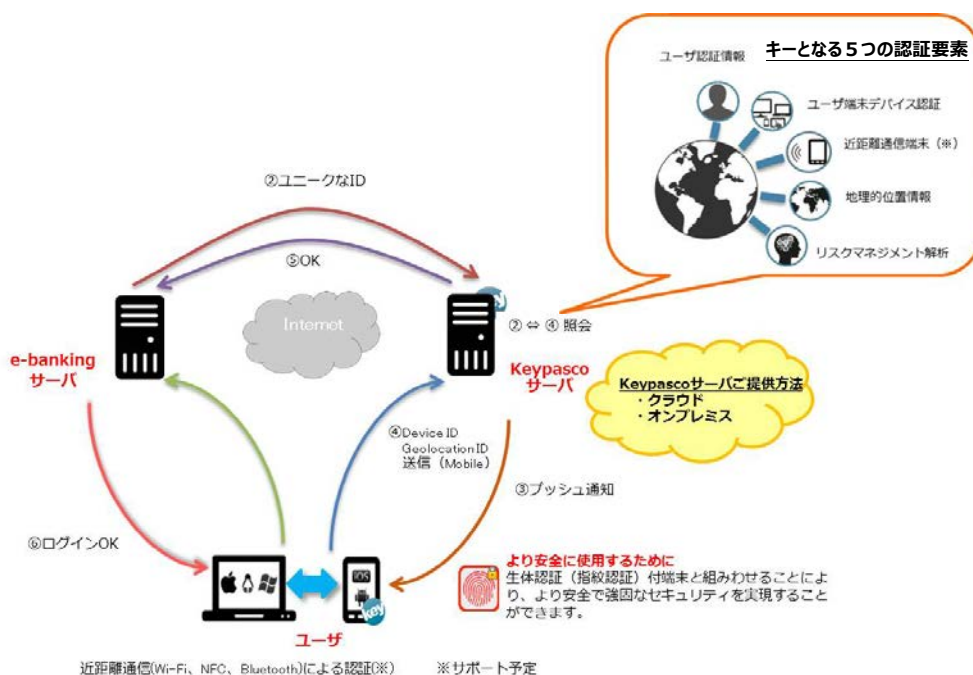
- ・Vaktenクライアントソフトウェア； スマートフォン、デスクトップPC対応（利用者がダウンロードのうえ使用）
- ・Borgen サーバソフトウェア； クラウド、オンプレミス対応（銀行側で使用）

<5つの要素を支えるコア技術> 日本ならびに海外で特許取得、あるいは特許出願済。

- ・Layered Device ID with 2-Channel Structure
- ・PKI sign in smart phones without extra hardware
- ・Risk Engine
- ・Proximity
- ・Dynamic URL

<2 経路認証の動作イメージ>

- ① e-banking のサイトへ、パソコンなどからログイン（Username、Password を Web Portal 画面に入力）
- ② e-banking サーバは、ログイン情報をもとに登録されたユニークな ID を Keypasco サーバに送信（個人を特定する情報は含まず）
- ③ Keypasco サーバは認証済みのモバイル端末上にプッシュ通知を送信
- ④ 認証済みのユーザのモバイル端末から Device ID、Geolocation ID を Keypasco サーバに送信
- ⑤ Keypasco サーバは、登録済 ID と④の情報を照会。正規のログインか否か判断し e-banking サーバに通知
- ⑥ Keypasco サーバによって正規のログインが承認されると、登録ユーザは、e-banking のサイトにログイン可能



【製品データ】

「マルチファクター&2 経路認証ソリューション」

標準価格： ～ 600 円／年（税別）（1 ライセンス：サブスクリプション方式の場合）

受注目標： 初年度 1.5 億円

販売開始日： 2016 年 1 月

※ライセンス数をまとめることで 1 ライセンス価格を抑えたボリュームディスカウントをご用意しております。

東陽テクニカは、Keypasco 社「マルチファクター & 2 経路認証ソリューション」をインターネットバンキングに加え、今後拡大が見込まれるクレジットカード決済を使ったインターネットショッピングやインターネットゲーム、普及が予想される IoT やフィンテック市場における、なりすましによる不正利用の防止に貢献してまいります。

<Keypasco 社について>

2010 年に設立された Keypasco 社は、スウェーデンに本社を置くグローバル企業です。2 経路認証構造による独自の認証デバイスを利用する特許を既に台湾、韓国、日本で取得しています。2014 年 Frost & Sullivan ※3 によって「Secure Authentication」分野の「Product Innovation Leadership Award」※4 を受賞しています。Frost & Sullivan は、Keypasco 社のことを『モバイルセキュリティにおける 21 世紀の真のパイオニアである。この賞の受賞社は、モバイルセキュリティの企業の中でトップ 10%を意味している』と述べています。

※3 Frost & Sullivan : 1961 年に設立されたフロスト・アンド・サリバン社は、世界に 40 以上の事務所を有し、1,800 名以上の産業コンサルタント、市場調査アナリスト、技術アナリストおよびエコノミストが、企業の成長のために新たな市場機会を調査し分析するというミッションに基づいて活動している市場調査会社です。

※4 「Product Innovation Leadership Award」は、成長性のある革新的・優秀な新製品に贈られる賞です。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、昭和 28 年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、460 名を超える全従業員の約 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ
情報通信システムソリューション部 CyberSec PJ チーム
TEL : 03-3245-1250 (直通) E-mail : CyberSec_PJ@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。